

# アムンディ・マーケットレポート

## ユーロ圏の8月景況感について

- ① ユーロ圏の8月景況感指標はかなり弱い動きでした。市場参加者は景気後退をも視野に入れ始めました。
- ② 製造業の弱さは、世界貿易の減速に加えて在庫が積み上がり、減産を余儀なくされている面もあります。
- ③ 世界的な金融緩和傾向から企業景況感は次第に改善し、ユーロ圏傾向に歯止めが掛かると考えられます。

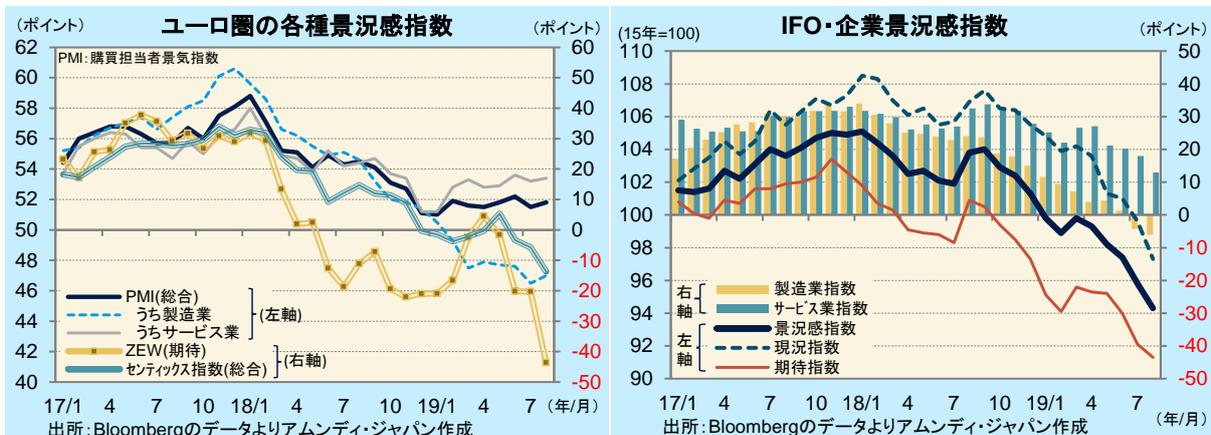
### 目立つ製造業の弱さを個人消費が下支え

ユーロ圏の8月景況感は、全体的にはかなり弱く動きました。22日にIHS Markitが発表したPMI（総合）は、前月比+0.3の51.8と持ち直しました。製造業、サービス業共に上昇しました。しかし、26日にCESifoが発表したドイツ企業景況感指数(ifo指数)は同-1.5の94.3(2015年=100)でした。Ifo指数は、欧州債務危機で景気後退期にあった2012年11月(94.2)以来の低水準です。ユーロ圏PMIとIfo指数が対照的な動きであることから、ドイツの企業景況感の弱さが際立っています。

一方、ZEW指数※(期待)は前月比-23.3の-43.6でした。2011年12月以来の低水準であり、市場参加者はユーロ圏の景気後退をも意識した状況になっています。センチックス経済信頼感指数☆(総合)も同-7.8の-13.3と、やはり欧州債務危機の時期に匹敵する水準です。ユーロ圏の主要国は現在、軒並み在庫削減を迫られている状態となっており、鉱工業生産は当面抑制を余儀なくされそうです。底堅い個人消費が何とか景気を下支えする展開が年内続きそうです。

※ZEW指数:ドイツの調査機関ZEW(欧州経済研究センター)がアナリスト、機関投資家、市場関係者に対するアンケート調査を基に算出

☆センチックス経済信頼感指数(本文中では「指数」に省略):ドイツの調査会社センチックス社が個人投資家、機関投資家に対するアンケート調査を基に算出



### 景気にプラスの政策姿勢がユーロを下支え

ユーロ相場は弱い展開です。米中貿易摩擦の激化、英国のEU(欧州連合)離脱問題の影響もさることながら、夏場以降は、景気先行き不安の影響も大きくなっているとみられます。

9月12日にECB(欧州中央銀行)理事会が予定されており、金融緩和に踏み切る可能性が高まっています。実現すれば景気先行き不安を和らげると予想されます。金融緩和は本来ユーロ安要因ですが、現在は景気先行き期待を高める政策がユーロ高に作用すると思われれます。



## 本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。  
本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。  
本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

## 投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

## リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<R1908100>